

中国語 (Chinese)

中国語入門 (Introductory Chinese)

(工 ((機)1年))

施国恩・非常勤講師

1単位 前期 水 7・8

(平成19年度以前の授業科目:『中国語入門』) (平成16年度以前 (医保は17年度以前)の授業科目:『中国語(1)』)

【授業の目的】 今中国は国民総生産で日本を抜き世界第二の経済大国に躍り出ました。日中両国は歴史の流れの中で、政治、文化、経済、いろいろな分野で友好交流が行われてきました。これからはもっと切っても切れない密接な関係になるでしょう。大学生になったみなさんはおそらく今まで中国についていろいろ勉強してきたと思いますが、これからの一年間の中国語学習を通して、異なる中国の文化だけではなく、通じる中国語を身につけ、中国の旅行を楽しんだり、現在の中国事情を知ったり、中国留学生とか中国の方と直接に話したりすることができれば、と思います。

【授業の概要】 テキストで新出単語・文法事項を学習し、発音練習をした後、教師と学生、あるいは学生同士による会話練習に最も重点を置き、会話運用能力を高めていく。また、中国に関するビデオ教材やCD等も適宜使用し、中国事情の紹介をする。

【キーワード】 中国語、ピンイン、中国事情

【到達目標】

1. 中国語のローマ字表記法(ピンイン)に慣れ、正しい発音を確実に身に付ける。
2. 初歩的な中国語を使って、中国人とコミュニケーションができる。

【授業の計画】

1. ガイダンス
2. 発音編①
3. 発音編②
4. 発音編③
5. 発音編④
6. 発音まとめ
7. 第1課 你好!(こんにちは!)
8. 中間テスト
9. 第2課 学校
10. 第3課 新宿
11. 第4課 カメラを買う
12. 第5課 談家庭(家族を語る)
13. 第6課 富士山

14. 第7課 咖啡館(喫茶店)

15. 期末試験

16. 総括授業

17. 第一回の授業で詳細な授業計画を説明するので、必ず出席すること。

【教科書】 相原 茂 陳 淑梅 飯田 敦子 『初級テキスト 日中いぶこみ広場』(朝日出版社)2011年, 2,625円(必ず購入すること)※後期も継続して使用する。

【成績評価の方法】 小テスト, 期末試験, 授業への取り組み状況により総合的に評価する。

【再試験の有無】 有

【受講者へのメッセージ】 授業中は恥ずかしがらず、積極的に声を出して練習しましょう。予習・復習時には、教科書付録の音声教材を活用して下さい。繰り返して聞くことで中国語の音とリズムに慣れ、「聞き取る能力」と「話す能力」を養うことができます。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220958>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 施 .